



いぶき

いぶき 第51号
 発行者 多田慎也
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

「前立腺癌について」

第二泌尿器科部長 櫻本 耕司



前立腺は膀胱の底にあり内部を尿道が通っていて、精液成分の一部を造り男性の生殖活動に関連する臓器であり、前立腺の活動は男性ホルモンに依存します。男性は高齢になるとにつれて前立腺の疾患で排尿障害や頻尿が発生することがあります。よく知られた前立腺の疾患として前立腺肥大症と前立腺癌があります。この二つの疾患は自覚症状では区別は出来ません。このため前立腺癌を早期に発見するために主に前立腺特異抗原（以下PSA）が利用されています。PSAの値の上昇程度が高いほど前立腺癌の可能性が高まります。

前立腺癌は今後の10年で日本の男性癌罹患率第2位になると予測されています。しかし、この癌での死亡率は日本では2002年から2005年

年にピークがあり以後減少してきています。これは早期発見や治療法の進歩などが総合的に関連した結果と考えます。前立腺癌は年齢が進むと発生率が高まりますが、この発生率には遺伝・人種・生活習慣が関与するとされます。また二親等以内に前立腺癌患者が存在する人は発生リスクが高まります。PSAでの前立腺癌検診の開始は50歳からがコストパフォーマンスの面から妥当とされています。ただしPSA 자체はいくらか上昇してもPSAのみでは前立腺癌を確定診断することはできません。

前立腺癌の確定診断のための検査法は生検です。PSAが上昇している人に前立腺生検を加えることで前立腺癌を早期発見しやすくなつたというのが実状です。確定診断されたら病期診断に移り被膜浸潤の有無・所属リンパ節転移の有無・骨転移などの遠隔転移の有無を検討します。前立腺癌が前立腺内部に納まつていれば手術や放射線療法での根治が狙えることになりますが、根治的に治療しても確率

的に再発する可能性はあります。PSAの上昇程度や癌組織の悪性度（グリソン・スコア）というものがよく用いられる）や進行度（病期）を総合して転移率が判断されますので、年齢も考慮して適した治療法を選択する必要があります。早期の状態であればあるほど根治率が高くなりますが、非常に穏やかな状態にある前立腺癌の場合は特に治療を加えなくとも年余にわたって病気としての悪化が起こらない場合もしばしば存在します。そのため単に手術をすればベストというわけでもありませんし、放射線療法や内分泌療法、またその他の治療法などが最適の治療法になる場合もあり、ときには定期的に検査を含めた経過観察を厳密にすることがベストの選択になります。

治療法にはそれぞれ利点欠点が存在し、一般的に手術療法での頻度が高い問題点は術後尿失禁と勃起不全の問題などです。根治的前立腺放射線療法に関しては過去に比して頻度は低下しましたが、今でも遅発性の尿道狭窄・直腸出血・直腸潰瘍などの発生があります。なお根治的手術法や根治的放射線治療法にも、それ何種類かの方法が存在

していて、それぞれの利点欠点が存在します。75歳以上の高齢者には内分泌療法を行うことが多いのですが、この治療で前立腺癌が治りきることはまれであります。しかし内分泌抵抗性に変化する前に別の原因で天命を全うされることが圧倒的に多い年齢層の患者様への治療法として選択され得ます。また初診時に既に根治不能になつているなどの進行前立腺癌には内分泌療法がまず選択されます。内分泌抵抗性前立腺癌になつたら抗がん剤での治療を加え延命を図り、抗がん剤が使用できないときや薬の効果がなくなれば、対症療法や緩和ケアが主体になります。

以上のような内容を平成25年9月の公開講座でお話しさせていただきました。

P.S.A.の上昇程度や癌組織の悪性度（グリソン・スコア）といいうものがよく用いられる）や進行度（病期）を総合して転移率が判断されますので、年齢も考慮して適した治療法を選択する必要があります。早期の状態であればあるほど根治率が高くなりますが、非常に穏やかな状態にある前立腺癌の場合は特に治療を加えなくとも年余にわたつて病気としての悪化が起こらない場合もしばしば存在します。そのため単に手術をすればベストというわけでもありませんし、放射線療法や内分泌療法、またその他の治療法などが最適の治療法になる場合もあり、ときには定期的に検査を含めた経過観察を厳密にすることがベストの選択になります。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

古いトモダチ

写真家 平井慶祐



まんのう町出身の写真家の平井慶祐さんは、早稲田大学法学部卒業後、カナダへ遊学。その後フリーの写真家として宮城県石巻市にてご活躍中。

人間の笑顔をテーマに2nd写真集『YELL TO YO』(エール to キミ)』エールを贈る写真集などを出版されています。

3年ほど前、写真集が完成する直前に編集マンに言われた言葉で、今でも時々はたと思い出す言葉がある。それは、「古いトモダチはいいよ。」と言う言葉だ。当時、その言葉通りに古いトモダチにネパールまで会いに行き、モヤモヤしていたモノが消え去り、確かに手応えを感じることが出来て無事に写真集が完成した経緯がある。目の前のことには精一杯過ぎるときほど、しばしばこの言葉を思い出している。突然思い立つて古いトモダチを訪ねるようになった。良く突然過ぎてビックリされるのだけれど、時間を惜しんで近況を語り合い、お互いの人生がプレていないことを見つめ合う。まさにプライスレス、今まで決して「あの頃は良

かつたよなあ。」と昔を懐かしむだけに終始することの無いように心がけている。それは、お互いにあの頃よりも少し年を取り、新たな景色を見て歩んできたのだから、その会わなかつた時間にどんな道を歩んで来たのかが知りたいと思うからだ。



昨年の暮れ頃にも、東京出張のあと、思い立つて茨城で百姓をはじめた古いトモダチの家を突然訪ねてみると、年齢は僕よりひとつ上の三十五歳、元ドラッグストア店員。カンボジアの国際支援をするNGOのスタッフアーチーで偶然一緒にになって意気投合した。感情豊かな彼はどんなことにも感動出来る子どものような心の持ち主で、カンボジアの子ども達と一緒に遊ぶ、笑い、歌い、そして別れ際にはぐしゃぐしゃになつて涙を流せる人間味溢

れるいい男だ。

その後も日本や海外で一緒にプロジェクトを進めることも多く、先述の写真集をつく

言い出したときのことも良く覚えている。「よつしや！ 絶対いい百姓写真撮つてやるからな！」とハッパをかけ、やつと見つけた畠を一緒に見に行つて、これで野菜には困らない

な。なんて思つて、いた矢先に東日本大震災が起つた。百姓一年目の一学期が始まつたばかりの彼の畠にも放射能が降り注いだ。そして僕は石巻に入り、彼は茨城に残り、突然の再会を果たし、お互いの過去がしつかりと繋がる瞬間だ。決して「あの頃は良

るときにも、ベトナムにいる彼に電話して、「人生の内三個月を俺にくれっ！」と口説いて我が家に住み込みで一緒に写真集を作つたこともある。喧嘩も数多くしたし、腹の底から思うことをぶつけ合つたりもした。

そんな彼が百姓をやる。と言つては、突然思い立つて古いトモダチを訪ねるようになつた。良く突然過ぎてビックリされるのだけれど、時間を惜しんで近況を語り合い、お互いの人生がプレていないことを見つめ合う。まさにプライスレス、今まで決して「あの頃は良

た。彼は途方に暮れた百姓人生の始まりを真正面から受け入れ、コツコツと畑の除染作業を徹底的にやり、周りの百姓の諸先輩方に厳しい叱咤を受けながらも、朝露に濡れる野菜達がいかに美しい姿をしているかを熱弁し、泥が少し付いていても良いから抜いたばかりの人参をポリッと食べるあの贅沢といつたらいい！と力説する彼は、あの頃とは全く違うことをしているけれど、そつくりそのままあの頃のと同じ顔をしていたのが嬉しかつた。最近では自分が育てた野菜に、「どまんなか野菜」と名前を付け、地元の産直市に並べたりしていると言う。やるじやないか。ほんの三十分の古いトモダチとの再会はいつもトモダチとの再会はいつも通りボクに沢山のエネルギーをくれた。次に合うときまでにまた、胸を張つて語り合える新しい人生を精一杯重ねて行くぞ！と背筋がシャンと伸びた気がする。「古いトモダチ」ってやっぱり良いもんだ。



- 労災病院周辺で見られる鳥 ●
クロジ

主任薬剤師・吉村正則

黒シトト（ホオジロの古名）
が由来で縁起の良い名前が付
いている。シャイな鳥で明る
い所には出て来ず、林内の薄
暗い場所を好んでいるので気
付き難いが、渋い色の美しい
鳥だ。

今までたんに当病院には
化学療法剤（いわゆる抗がん
剤）が用いられてきました。
化学療法剤は増殖が活発な腫
瘍細胞に作用し、細胞のもと
となるDNAやRNAを作ら
せないようにさせたり、細胞
分裂をできなくさせたりしま
す。しかし、人間の体の中には
は生命を維持させるため、活
発に増えている良い細胞もあ
ります。骨髓（血液を作り出
す細胞）や粘膜細胞（口腔内

「分子標的薬」という言葉を聞いたことがありますか？主にがん治療の分野で、最近目覚ましく開発が進んでいる薬です。では分子標的薬とはどのよう

分子標的薬は、ある特定の分子を標的とします。腫瘍細胞の表面にあるたんぱく質や特異的な増殖遺伝子発現などを見つけることによって、それをターゲットとした薬を創りだすことができます。今、世界中でターゲットとなる分子を探し出す研究が盛んに行われています。グリベックという薬剤は慢性骨髄性白血病治療に用いる分子標的薬で、白血球を増殖させる異常たんぱく質をとらえ、その働きを

や胃、腸の粘膜、毛根細胞などです。化学療法剤が投与されると、これらの細胞にも作用し、骨髄抑制や粘膜障害などを引き起こし、感染や吐き気、脱毛などが生じます。

抑えます。この薬剤の優れた抗腫瘍効果により、慢性骨髄性白血病治療は大きく変わり、病気をコントロールできるようになってきました。このように、分子標的薬は、正常な細胞と腫瘍細胞との違いを認識し、腫瘍細胞の特定分子だけを狙い撃ちにしますので、正常細胞へのダメージが少なくなります。しかし、各薬剤にそれぞれ特徴的な副作用もあります。イレッサやベクタ

ティビックスの皮膚障害、アバランチ、スチバーガ、インライタなどの高血圧、ハーモチンの心障害などです。効果が期待できるからこそ副作用も出やすく、副作用をマネジメントすることも重要です。薬剤師は治療中に起る副作用を軽減させるために、医師や看護師と話し合いながら薬剤の提案を行っています。つらい症状があればご相談下さい。

【かかりつけ医】をお勧めしています！

医事課長 森本 正人

新田聖子

編集だより

患者サービス向上委員会

当院は、地域医療において重症者や手術を要する患者さんに対応するための救急医療を求められています。皆様の健康を守るため、地域の「かかりつけ医」の先生方と協力して緊急時の受入れや専門的な治療ができるよう努めています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

当院では、病状が安定している患者さんや長期通院が必要な慢性期の患者さんに、その後の治療や経過観察、お墓の処方などをお住まいの近くの医院やクリニックの医師（かかりつけ医）へ積極的に紹介しています。患者さんに精密検査や入院、手術治療が必要となった場合は、「かかりつけ医」が当院や専門病院を紹介し優先的に手続きが行われますのでご安心ください。

とです。「かかりつけ医」は、患者さんの健康に関する全ての「最初の相談役」となります。病気の早期発見や食事事、運動などの健康管理の相談、自宅での療養における訪問診療・緊急時の救急病院への紹介など生活に密着した医療にかかわってくれます。また、これからの中高齢社会では往診などの在宅医療がますます重要になりますが、「かかりつけ医」になります。

「かかりつけ医」が当院や専門病院を紹介し優先的に手続きが行われますのでご安心ください。

などの在宅医療がますます重要になつてきますが、在宅医療の担い手はやはり近隣の「かかりつけ医」になります。

「かかりつけ医」が在宅支援診療所・強化型在宅支援診療所として登録されているところも増えていきます。

「いぶき」へのご意見
やご感想をいただければ
幸いです。

身体を動かすことはカロリー消費を高め、筋力のトレーニングになります。さらに認知機能を高める、免疫機能を上げるなどの様々な効果が期待できます。散歩やラジオ体操から始めてみてはいかがでしょうか。